

グローバル・フードバリューチェーン アセアン部会
JiPFA(食と農の協働プラットフォーム) 東南アジアFVC分科会

「JICAにおけるASEANのFVC構築に係る 協力の最新動向」

独立行政法人 国際協力機構(JICA)
経済開発部 農業・農村開発第1グループ
坂口 幸太

2020年8月6日

議事次第

1. 東南アジアにおけるFVC開発のコンセプト
2. JICAプロジェクトの実施状況
3. 東南アジアにおける活動の今後の方向性
4. With/Post COVID19社会におけるFVC支援

1. 東南アジアにおけるFVC開発のコンセプト



稲作振興・コメVC

- コメ種子、営農・普及改善、機械化促進、水管理
- 灌漑整備への資金協力
- 官民連携、金融包摂(含:農業保険)、DX



作物多様化・園芸VC

- マーケットイン、作物多様化促進、組織化促進、営農・普及改善
- 施設園芸への資金協力
- 官民連携、金融包摂、6次産業化、認証、DX



食の安全

- 農薬登録・分析能力強化、農薬使用指導能力強化
- 有機農業、GAP



2. JICAプロジェクトの実施状況①

2国間協力の実施状況

技術協力

(プロジェクト、個別案件、
基礎調査)

- 2019年度:37件、2020年度:55件(うち、プロジェクト35件)
- 実施中プロジェクト事前評価総額:104億円
- 最多はミャンマー(11件)、次いでインドネシア(9件)

資金協力

(有償、無償)

- 実施中案件数:有償資金協力9件、無償資金協力5件
- 実施中案件承諾額総額:約1600億円
- 具体例:インドネシアルンタン灌漑近代化事業(482億円)、ミャンマー農業所得向上事業(304億円)

人材育成

(研修、留学)

- 課題別研修:食品安全、農業普及、FVC等のテーマで100名/年以上受入
- 留学事業:Agri-Net、ミャンマー中核人材育成事業等のスキームを通じ、年間30名程度の留学生(修士、博士)を受入

民間連携・
市民参加協力事業

- 民間連携事業(中小企業・SDGsビジネス支援事業):35件
- 民間連携事業(海外投融資):1件
- 草の根技術協力:20件



2. JICAプロジェクトの実施状況②

緑:実施中、水色:新規
(2020年7月末時点)

稲作振興・コメVC

作物多様化・園芸VC

食の安全

その他

ミャンマー灌漑整備・農業所得向上/農業金融

ラオス参加型農業開発

カンボジア農薬

ミャンマー農業大学
フェーズ1→フェーズ2

東南アジア外国人材

ミャンマー米種子

ミャンマー園芸VC

タイ体験型一村一品

カンボジア米種子

ベトナム安全野菜

インドネシア農業保険

ラオス米種子

ラオスクリーン農業

キャッサバ病害虫対策

インドネシア灌漑MP

フィリピン園芸VC(含:外国人材)

インドネシア
ソルガムバイオマス

東チモール国産米振興

インドネシア園芸VCフェーズ1→フェーズ2
(含:外国人材)(2021~)

政策アドバイザー10件

ミャンマーゲノム育種

タイコーヒーVC

インドネシア
ゴムノキ病菌対策

ミャンマー水管理・営農指導

タイ ウキクサ

ミャンマー種子(胡麻等)

フィリピンバナナ・カカオ病害管理

ベトナムゲアン省
農業開発振興

ASEAN-JICA FVC開発支援プロジェクト

東南アジアで実施しているFVC構築支援事業

技プロ

技プロ+円借款

草の根技術協力

基礎調査

民間連携事業

ミャンマー 貧困農家の所得向上及び健康改善のための無農薬ハーブ及び雑穀等生産・販売ビジネス調査

ミャンマー 加工・梱包技術導入による遠隔地域における高付加価値農産物のバリューチェーン構築に関する普及・実証事業

ミャンマー FVC開発支援調査

ミャンマー イネ保証種子流通促進プロジェクト

ミャンマー シェエボー灌漑地域参加型水管理を通じたコメを基軸にしたアグリビジネス開発プロジェクト

ミャンマー 米粉VC案件化調査及び胡麻VC案件化調査

ミャンマー 水分計測トレーサビリティ普及実証事業

ミャンマー バゴー地域西部灌漑農業収益向上プロジェクト及びバゴー地域西部灌漑開発事業

タイ 地元産品の収穫後管理及び地域開発(コーヒーバリューチェーン)

カンボジア 種子生産・普及プロジェクト

カンボジア ビジネスを志向したデル農協構築プロジェクト

カンボジア 官民連携による食品安全基準の策定支援および検査ビジネス展開にむけた案件化調査

タイ、マレーシア フードバレーとかちを通じた地域ブランドとハラル対応による産業活性化および中小企業振興プロジェクト

ジャカルタ特別州消費者向け高付加価値農産物の供給改善を通じた零細農家所得向上のための案件化調査

ベトナム 北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト

ベトナム ゲアン省農業振興開発計画策定支援プロジェクト

ベトナム ゲアン省におけるニンニクを中心とした農産物のバリューチェーン構築に係る案件化調査

ベトナム 底面給水式植物工場による自然有機野菜の生産とフードバリューチェーン構築に係る案件化調査

ベトナム ダナン市における水産物バリューチェーンモデル構築プロジェクト

ベトナム ラムドン省産切り花高付加価値化のためのバリューチェーン・コーディネーション普及・実証事業

ベトナム ラムドン省における農産物品質向上のための長期鮮度保持システムの導入にかかる案件化調査

ベトナム レンコン・バリューチェーン構築事業準備調査(BOPビジネス連携促進)

フィリピン国安全野菜生産販売技術改善プロジェクト

ラオス クリーン農業開発プロジェクト

ラオス サバナケット県における参加型農業振興プロジェクト

ASEAN広域フードバリューチェーン構築のための情報収集・確認調査

東ティモール はりかい式高品位水産物生産を活用したグローバル・フードバリューチェーン構築に係る案件化調査

東ティモール 国産米の生産強化による農家世帯所得向上プロジェクト

インドネシア官民協力による農産物流通システム改善プロジェクト

高付加価値いちごの無病苗開発を通じた6次産業化案件化調査

国際協力機構

2. JICAプロジェクトの実施状況③

インドネシア：官民協力による農産物流通システム改善プロジェクト（フェーズ1）

協力期間： 2016年3月～2021年3月（5年間）

高品質で安全な農産物の栽培・生産技術の指導



- 西ジャワ州の農家1,400人以上が参加。
- 高付加価値農産物の栽培指導（トマト、パプリカ等）
- ユニチカやアサヒHD社と連携し、日本の最新技術を活用。

近代市場への販路開拓

- 富裕層や中高所得層をターゲットとするスーパーマーケット、外食産業、食品加工業への販路を開拓（日本企業含む）。
- オンライン販売も試行。



民間連携

金融アクセスの改善

- インドネシア政府の小規模融資（KUR）を民間銀行のBTPNと連携し実施。これまで農家50人に6百万円を融資。
- 小規模投資ファンドと連携したトライアル融資も実施中。



政府関係者の能力強化

- 日本の青果物のサプライチェーン（生産、加工、流通及び販売）全体について学ぶため、41名の中央政府・州政府関係者が研修で来日。
- プロジェクト開始後、32の園芸VC改善プロジェクトがインドネシア政府関係者により、提案・実施中。



2. JICAプロジェクトの実施状況④

ミャンマー：シュエボー農業開発サブプログラム

実施期間：2017-2025



技術協力

《住民参加型水管理、コメのバリューチェーン改善、作物多様化推進 等の技術支援》

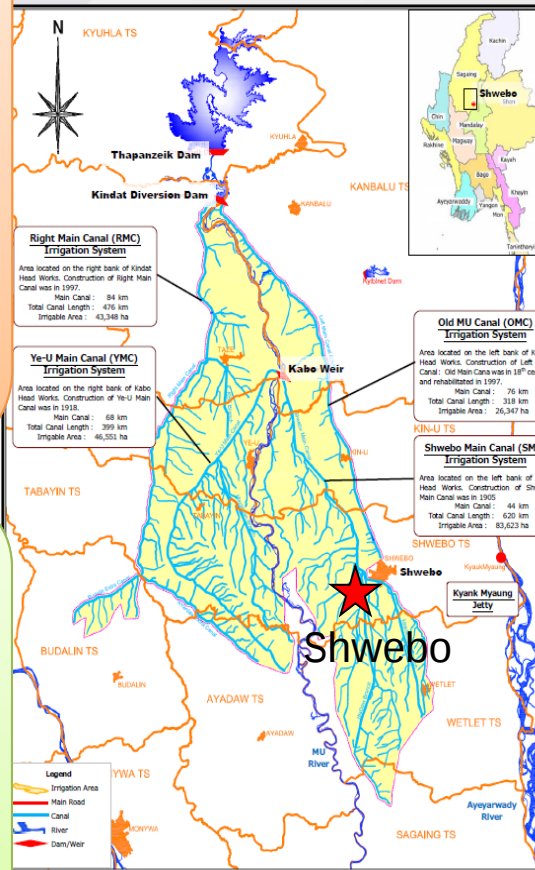
- イネ保証種子流通促進プロジェクト(2017-2023)
- 農業所得向上事業・有償勘定技術支援(2018-2019)
- 水管理・営農指導改善プロジェクト(2020-2025)



円借款

《灌漑施設、農機修理センター、農機検査センターの建設 等の資金協力》

- 農業所得向上事業(2018-2024 / 305億円)
- 農業・農村開発ツーステップローン事業(2016-2020/151億円)



民間連携

《ゴマのバリューチェーン改善、水分計の普及 等の民間企業による活動》

-高品質胡麻油製造技術による胡麻產品の高付加価値化に向けた案件化調査(2018-2020)

-水分計測トレーサビリティシステムによるコメ水分管理体制構築に関する普及・実証事業(2017-2019)

-ミャンマー国小規模農家の収入向上のためのセンナ栽培・加工品販売ビジネス (SDGsビジネス)調査(2018-2020)

期待される成果：20万haの灌漑施設の整備と、稲作を中心とした農業開発

地域の農業収入の向上(40%増)、乾期の灌漑利用地域の拡大(110,000 ha ⇒ 190,000 haへ)、農業機械修理数の増加(20%増)、コメ生産量の増加(20%増)、ゴマ生産量の増加(100%増)



2. JICAプロジェクトの実施状況⑤

ラオス：サバナケット県における参加型農業振興プロジェクト

協力期間： 2017年6月～2022年5月（5年間）

①灌漑面積の増加

②灌漑基金の積み立て
（水利費やポンプの電気代）

③水利組織の会計の明確化

④灌漑施設の適切な運営管理



灌漑

栽培技術の普及：
種子・肥料貸付、栽培技術強化プログラム

①希望農家の登録→②研修受講→③研修後、種子と肥料を配布→④現場で技術のフォロー→⑤収穫→⑥代金の回収

営農/稲作



農家の収入向上

成果

①対象地位区の農家総数

約 1600軒

②収量の増加（農家一戸あたり）

全体で27%の増収

成果

①灌漑面積の増加
（7地区合計）

922ha→1344 ha

②水利費の徴収状況

約7割

③ポンプ代の支払い状況

100%支払済

* 2018／19年乾期データ



マーケティング/
園芸作物振興



「作って売る」から「売るために作る」へ

①売るためのもの作り

②付加価値のある野菜の栽培

③販路拡大



成果

①新品種の導入・販路拡大

売上約1.5倍 * ポンシム農家グループ

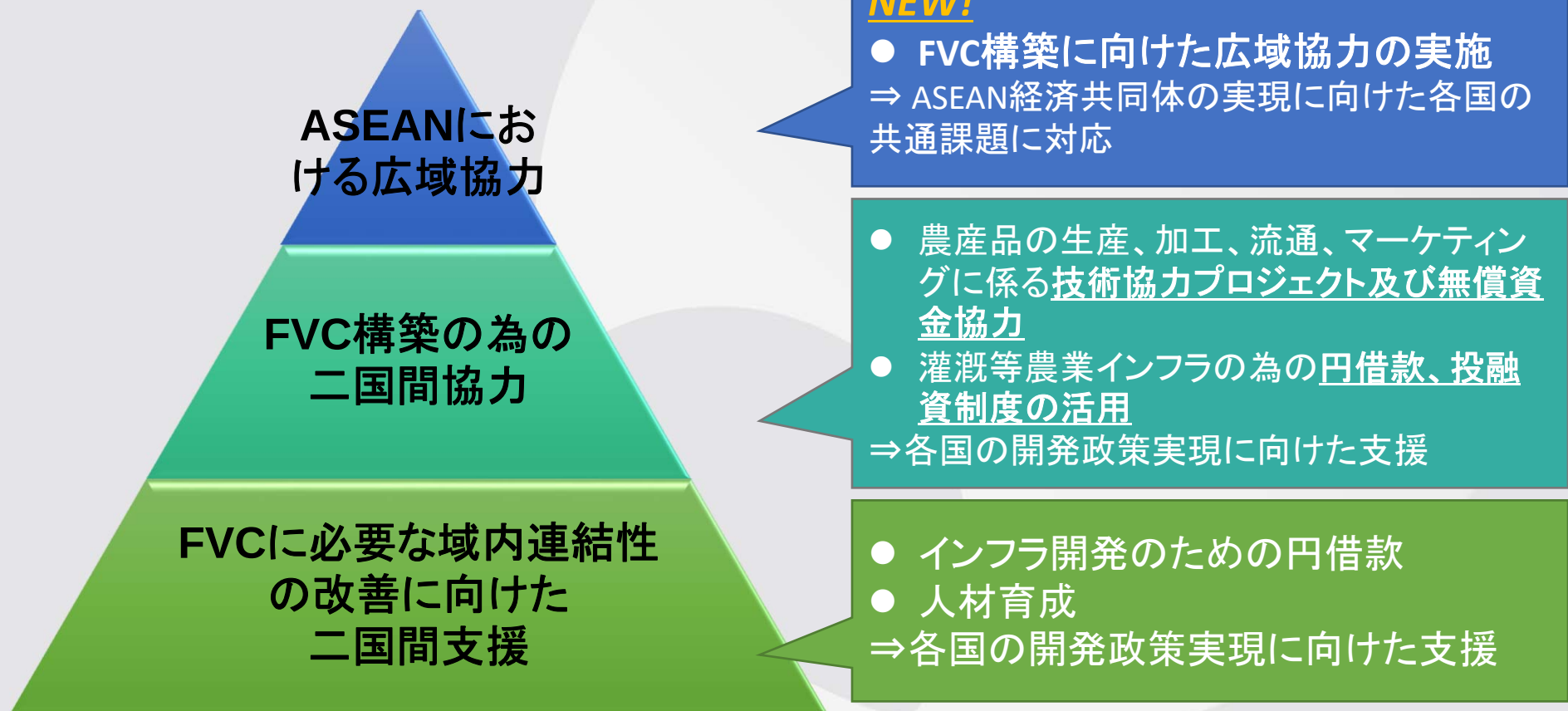
②野菜栽培技術の習得

ダイコン、ズッキーニ、オクラ、ニンジン...

Japan International Cooperation Agency

2. JICAプロジェクトの実施状況

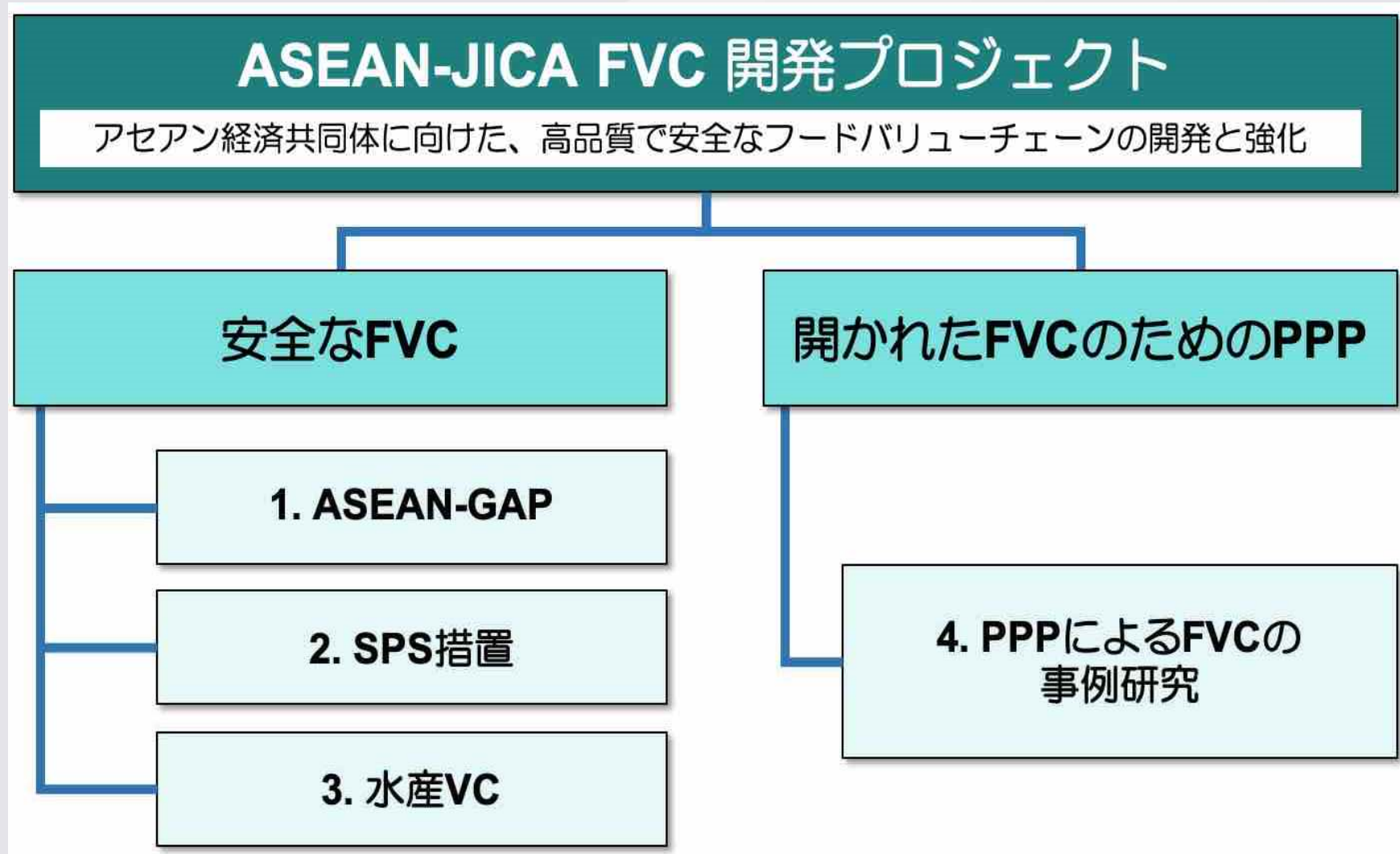
広域案件





2. JICAプロジェクトの実施状況

広域案件



3. 東南アジアにおける活動の今後の方向性 －基本方針－

後発ASEAN(CLM)+東チモール

- 貧困削減と市場志向型農業の両軸で協力を展開する
- 資金協力、技術協力、提案型事業の有機的連携を志向

インドネシア、フィリピン、ベトナム

市場志向型のバリューチェーン形成⇒産地形成を目指す
外国人材の還流モデルの形成に向けた試行的事業を展開する
技術協力を中心としつつ、資金協力による環境整備、スケールアップなどを目指す他、提案型事業との有機的連携も図る

先発ASEAN

- タイを中心に中進国の協力モデルとなり得る、現地技術と日本技術の共創による協力を展開する
- 技術協力を中心スキームと据えつつ提案型事業との連携を志向する

3. 東南アジアにおける活動の今後の方向性

自由で開かれたインド太平洋（FOIP）への貢献

法の支配, 航行の自由, 自由貿易等の普及・定着

- 広域協力及びバイの協力において、自由貿易の推進に資する貿易のボトルネック解消のための協力を実施⇒ASEAN-FVC、各国食の安全・FVC協力

経済的繁栄の追求

人材育成等による「人的連結性」(特に食の安全にかかるソフト分野のASEAN連結性強化や稲作分野のアジア-アフリカ協力)、輸出入のボトルネック解消に向けた「制度的連結性」の強化に貢献⇒ASEAN-FVC、各国食の安全・FVC協力、留学生事業及びアフリカ向け第三国研修

平和と安定の確保

- 海賊対策分野における協力⇒ASEAN-IUU、タイ、東チモール、大洋州におけるIUU対策(東南アジア漁業開発センター(SEAFDEC)との連携により実施)



3. 東南アジアにおける活動の今後の方向性 協力上の留意点 (1/2)

変わりゆく農村社会

- 各国の産業振興⇒農村社会の高齢化、離農者の急速な増加
- 農村社会の豊かさを踏まえた協力の展開

旺盛な本邦企業の進出意欲

- 日本の農食産業の縮小⇒海外展開の第一オプションとしての東南アジア地域（経済連携協定も後押し）

デジタルトランスフォーメーション（DX）

- DXが最も遅れた農業セクター⇒DXの大きな伸びしろ、Agricultural Transformationへの有効なツールとしてのDX技術、本邦企業の高い関心

金融包摂

- 農家の所得向上⇒金融リテラシー、金融アクセスの大幅な改善が必須



3. 東南アジアにおける活動の今後の方向性 協力上の留意点 (2/2)

ASEAN広域協力と2国間協力の有機的連携

- 広域協力における地域の基準・ガイドライン作りと2国間協力における各国の開発モデルづくり

留学事業・研修事業による親日・知日家の育成

- 30人/年の留学生枠や100人/年規模の研修枠を活用した、政策策定レベルから現場実務者に至る新日・知日派の積極的育成

外国人材×ODA

- 我が国の農業従事者の激減(2015年:220万人、2035年:100万人)⇒技能実習生(大多数がASEANより)の存在感の高まり⇒訪日前、帰国後への介入を中心とした還流モデル形成支援

ドナー・国際機関連携

- 世銀、ADB、FAO、Grow Asia等の開発アクターの存在⇒Win Winになれる連携

4. With/Post COVID19社会におけるFVC支援

ASEAN全体(感染者:242,943人、死者:6,868人)

- 2020年4月9日:ASEAN首脳によるCOVID-19対策に向けた声明を発表。
- 2020年4月17日:ASEAN農林大臣会合にて、コロナ禍における食糧安全保障、食品安全、栄養改善の継続に向けた声明を発表。
- ASEAN加盟国間での食品、医療機器など必要物資の融通を開始。

政策:緊急経済支援策(農業分野への助成、中小企業支援等)
感染状況:(感染)8,897(死者)124

政策:We Recover as One
感染状況:(感染)80,448(死者)1,932

政策:国家緊急経済支援計画(CERP)
JICA支援:インパクト調査、機材供与(農村通信インフラ、種子供給に必要な機材)
感染状況:(感染)350(死者)6

政策:確認中
JICA支援:インパクト調査(IPSARDと連携)
感染状況:(感染)420(死者)0



政策:緊急経済支援策(食品輸入業者へ対する債務返済期限の延長等)
感染状況:(感染)141(死者)3

政策:コロナ禍における戦略産品供給・価格管理に係るタスクフォースの設置
感染状況:(感染)225(死者)0

政策:緊急財政支援策
JICA支援:D-Hopeを通じた野菜種子事業支援、新規スマートフードチェーン技プロ形成中
感染状況:(感染)3,295(死者)58

政策:農林水産・食品産業従事者向けの安全確保ガイドラインの策定
感染状況:(感染)50,369(死者)27

政策:新型コロナウイルス対策に関する首相命令 No.06/PM(食料供給確保を含む)
JICA支援:コメVC調査
感染状況:(感染)20(死者)0

政策:農業省主導による食料供給支援策、小規模農家支援策の実施、食品関連の輸入制限を緩和等
JICA支援:灌漑作物VC、園芸作物VC、E-Commerceの活用に係る調査
感染状況:(感染)98,778(死者)4,718

(注:感染者数は2020年7月27日時点。WHOより。)



4. With/Post COVID19社会におけるFVC支援

各国における対応

- ベトナム：農業・農村セクターにおけるCOVID-19のインパクト調査
- インドネシア：灌漑作物を対象としたWith/Post COVID-19社会のFVC調査
- インドネシア：園芸作物を対象としたWith/ Post COVID-19社会のFVC調査
- ラオス：コメを対象としたWith/ Post COVID-19社会のFVC調査
- ミャンマー：COVID-19 Economic Relief Plan(CERP)に基づく農業・農村セクター基盤強化のための資機材供与

⇒既存案件の中で、COVID-19による影響を把握。



4. With/Post COVID19社会におけるFVC支援

With/Post COVID19社会におけるFVC開発に係る調査(案)

- JICAが実施・形成中事業の対象サイトを中心に、COVID-19がASEAN諸国における生産、加工、物流、消費を含むFVCに与えた影響について定期的に情報収集・確認。
- 負のインパクトを軽減させる為のパイロット事業を形成。
- With/Post COVID-19社会におけるFVC再興に向けた支援策の検討を行い、ASEAN共同体及びASEAN各国に対して政策提言を行う。

⇒感染症へのレジリエンスを高めるFVCの在り方について検討

ご清聴ありがとうございました。

問合せ窓口：edga1@jica.go.jp